

この「あたたかい沖縄」で、未来の宝を守りたい！

- ★**団体名** 東日本大震災被災者支援プロジェクト・一般社団法人「つなぐ光」
★**所在地** 沖縄県国頭郡恩納村瀬良垣1404-1シーサイドビラ203
★**連絡先** Tel&Fax 098-966-1103 HP <http://tsunaguhikari.jp/>
★**担当者** 事務局長 中川角司 (厚生労働大臣認定産業カウンセラー・心理相談員)

★**活動報告** 福島第一原発100キロ圏内の妊婦と子育て家族を対象に、「レスキュー支援」「学童疎開支援」「コミュニティ形成支援」を行っています。レスキューとは、沖縄に来た方の支援ではなく、沖縄に「来るため」の支援です。また、高レベル放射線地域に住む学童には、免疫力を取り戻す為、「最低1ヶ月」の疎開支援を行っています。なお、避難しても孤立したら別の苦悩が生まれるので、避難者と県民が集う企画を運営し、仲間と繋がっている安心感を提供する支援も行っています。

<これまでの支援の状況> 3/18~10/10 現在

(1) レスキュー支援 【沖縄への避難とホームステイ提供】

◆被災地から 34 世帯 94 名が滞在、その後 18 世帯 47 名が移住 =A
福島県から 16 世帯 47 名が滞在、その後 08 世帯 23 名が移住
宮城県から 15 世帯 39 名が滞在、その後 07 世帯 16 名が移住
茨城県から 03 世帯 08 名が滞在、その後 03 世帯 08 名が移住

- ※支援内容
- ・ 5 週間の滞在費用 無料 (全ての食事も提供)
 - ・ 沖縄への航空運賃 提供 (経済事情の苦しい方)
 - ・ 短期の生活一時金 提供 (経済事情の苦しい方)

◆滞在以外の支援で関わった方は、その後 09 世帯 31 名が移住 =B

◆まとめ：つなぐ光のレスキュー支援では、約半年間で、
被災地から 34 世帯 94 名が滞在し、27 世帯 78 名が移住した。 =A+B

(2) 学童疎開支援 【海と空の林間学校 in 沖縄の開催】

- ◆定員 20 名 (小学5年~中学2年)
◆対象 福島の避難所や仮設住宅の子供を優先 (結果として9名が優先者)
◆日程 7/25~8/22 (1ヶ月間) ◇費用 一人1万円 (全て込み込み)
◆特記 1ヶ月で10cmほど身長伸びた子がいた。疎開の意味を痛感した。

(3) コミュニティ形成支援 【つなぐ処：ツナグトコロ】

◆かなりの被災者が移住するので、沖縄で孤立しない為の「集う」支援を行う活動拠点として、7月に浦添市に「つなぐプラザ」をオープンした。

<今後の支援の方針>

- (1) 募金箱や寄付をいただけるアイテムを創り、活動費を捻出することが急務。
- (2) レスキュー・学童疎開・コミュニティ形成支援の継続 (十分な経験あり)
- (3) 移住支援の強化 (被災者支援をご理解下さる不動産業者を増やしてゆく)
- (4) 就労支援の新設 (就労の目処がないなら、移住は考えにくいのが実情)
◆ 県民と被災者が JOB を奪い合わないよう、県民枠とは別に被災者用雇用枠を提供して下さる企業様を集約してゆく。 以上